

[成果情報名]早出し栽培に適する糖度の高い大玉スイカ新品种「あきた夏丸ワッセ」

[要約]「あきた夏丸ワッセ」は、早出し栽培において果実外観が「あきた夏丸」とほぼ同等であるが、早生で糖度が高く内部品質に優れる。本品種と普通栽培の「あきた夏丸」を組み合わせることによって“あきた夏丸ブランド”スイカを長期継続して出荷できる。

[キーワード]早生、糖度、早出し栽培、大玉スイカ、あきた夏丸ワッセ

[担当]秋田県農業試験場・野菜・花き部

[代表連絡先]電話 018-881-3330

[区分]東北農業・野菜花き（野菜）

[分類]普及成果情報

[背景・ねらい]

県育成の大玉スイカ「あきた夏丸」は、収穫期が7月下旬以降の普通栽培（トンネル移動式栽培や露地普通栽培）において本県の主力品種となっているが、果肉が硬く糖度も上昇しにくい7月上・中収穫の早出し栽培（ハウスまたは大型トンネルを用いた整枝栽培）には向かない。そこで、市場評価の高い“あきた夏丸ブランド”スイカを長期間継続して出荷するため、早出し栽培に適する「あきた夏丸」の早生タイプ品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 「あきた夏丸ワッセ」は、農試育成の早生系統「FR-24」と「あきた夏丸」の両親系統をそれぞれ交配し、その後、戻し交雑を1回行って固定した早生2系統間のF₁品種である（図1）。
2. 早出し栽培での成熟日数は、積算温度で834℃（7月中旬収穫で40日）と、「あきた夏丸」（積算で920℃）と比較して4日早く収穫できる（表1、図2）。
3. 早出し栽培での果実外観は、「あきた夏丸」と比べ、果形がやや縦長で、果皮色がわずかに淡く、縞の太さがやや太いなど若干の差があるもののほぼ同等である（表1、図2）。
4. 早出し栽培において、「あきた夏丸」と比較して成熟期の中心糖度が1%ほど高く、果肉色がやや濃く、果肉は硬すぎずシャリ感があり、青臭さも残らないため果実内部品質の評価が高い（表1）。
5. 早出し栽培向けの「あきた夏丸ワッセ」が開発されたことで、普通栽培の「あきた夏丸」と組み合わせ、本県の大玉スイカを“あきた夏丸ブランド”の品種で長期継続して出荷することが可能となる（図3）。

[普及のための参考情報]

1. 普及対象：秋田県内のスイカ生産者。
2. 普及予定地域・普及予定面積：県南を中心としたスイカ栽培地域に20ha。
3. 草姿および草勢は「あきた夏丸」とほとんど変わらないため、施肥量をはじめとした栽培方法は「あきた夏丸」に準ずる。なお、定植から開花までに要する日数も「あきた夏丸」と差がない。
4. 成熟まで日数を要する早出し栽培に適する。成熟日数が短くなる7月下旬以降収穫の普通栽培では、果肉が軟らかくなりすぎ、日持ち性も劣ることから、従来の「あきた夏丸」を用いる。
5. 積算温度から推定される県南部における成熟日数は、7月上旬収穫で43日前後、7月中旬収穫で40日前後となる。
6. 早生品種の特性上、収穫適期幅は「あきた夏丸」と比較して短く、収穫遅れによる空洞果の発生には十分注意する。
7. 種子は、許諾先を通じて2018年より秋田県内限定で販売される予定である。

[具体的データ]

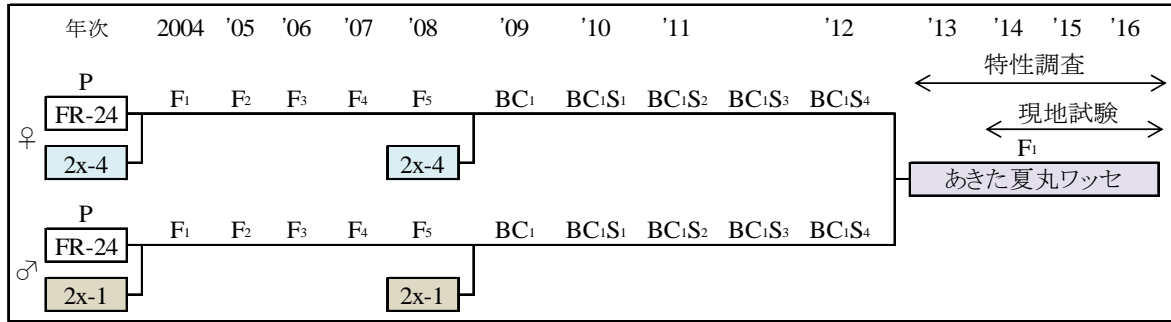


図1 育成経過 注) 2x-4×2x-1が「あきた夏丸」

表1 成熟日数および果実特性(育成地 早出し栽培^z、2013年、2015年および2016年の平均値)

品種名	成熟日数(日)	積算 ^y 温度(℃)	果重(kg)	果高/果径	果皮色	縞太さ	外観 ^x 評価	中心糖度(Brix値)(%)	果肉色	果肉硬さ	シャリ感	青臭さ	内部 ^x 評価
あきた夏丸ワッセ	40	834	7.81	1.06	緑	太	○	13.1	赤	中	やや多	無	◎
あきた夏丸	44	920	8.09	1.03	やや濃緑	やや太	—	12.1	やや淡赤	やや硬	中	少	—
t検定 ^w	**	**	n.s.	n.s.				**					

^zハウスを利用した整枝栽培、播種：3/中、定植：4/下、開花：6/上、収穫：7/中

^y気象庁データベース(秋田市)の値を基に作成

^x「あきた夏丸」と比較して◎(優)、○(同等)、△(やや劣)、×(劣)

^w両品種の間に、n.s.は有意差なし、**は1%水準で有意差あり(n=5~9)



「あきた夏丸ワッセ」(果肉成熟:収穫期)

「あきた夏丸」(果肉未成熟)

図2 開花後40日目の果実比較(2015年7月13日)

作型	品種名	3月			4月			5月			6月			7月			8月		
		下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
早出し栽培	あきた夏丸ワッセ	播種			定植			開花			収穫								
普通栽培	あきた夏丸				播種			定植			開花			収穫					

図3 「あきた夏丸ワッセ」と「あきた夏丸」を組み合わせた栽培体系

(秋田県農業試験場)

[その他]

研究担当者：椿信一、佐藤友博

発表論文等：秋田県「あきた夏丸ワッセ」品種登録出願2017年6月26日(第31917号)